

指標策定上の留意点

静岡県幼児教育センター

指標の策定に当たっては、各市町の教育施策、教員育成に対する考え方等に基づいて行ってください。

参考資料として、静岡県幼児教育センターで作成した「幼稚園等教員育成指標(モデル案)」及び「幼稚園等園長育成指標(モデル案)」(以下「モデル案」及び「園長モデル案」という。)を添付しますのでご活用ください。

1 キャリアステージの区分について

公立幼稚園等における教員のキャリアステージは、小学校や中学校、高等学校等の教員と同様に、単に年齢や在籍年数で区切られるものではありません。それぞれの市町の教員育成の考え方をもとに、保育所や私立幼稚園等における経験等も考慮し、教員自身が自らのキャリアステージを自覚していくこととなります。

モデル案では、キャリアステージの区分を静岡県教員等育成指標に準じ、「採用時」「基礎・向上期」「充実・発展期」「深化・熟練期」としています。

キャリアステージの区分例

区 分	説 明
採用時	○ 教育・保育に対する真摯な姿勢を持つとともに、求められる資質能力の基盤を形成しようと努める。
基礎・向上期	○ 他者との関わりや仕事上の経験を経て、教員としての資質能力の向上を目指す。 ○ 様々な園の移動を経験する中で、視野を広げる。
充実・発展期	<u>基礎・向上期に身に付けた力に加え、</u> ○ 自らの立場や役割を自覚して園運営に参画し、ミドルリーダーとしての資質能力の向上を目指す。 ○ 教員としての幅をさらに広げ、自己の強みを確かなものにする。
深化・熟練期	<u>充実・発展期に身に付けた力に加え、</u> ○ 指導的な立場として、園運営のサポート役や園内の人材育成の推進役を務めるとともに、専門性をより深め、自らの描いた理想とする教員像の実現を目指す。 ○ 園運営をリードする立場として、組織的に教育・保育を推進する体制を構築する。

2 資質能力の区分について

モデル案では、静岡県教員等育成指標の資質能力を乳幼児期の教育・保育に応じた

ものに整理しました。大きな変更点として、静岡県教員等育成指標の「授業力」及び「生徒指導力」を「教育・保育力」として一つにまとめ、内容項目を「教育・保育を構成する力」「乳幼児を理解し個に対応する力」の二つに分けました。

これは、幼児教育において「授業力」及び「生徒指導力」に対応する「教育・保育を構成する力」と「乳幼児を理解し個に対応する力」は、それぞれが独立して行われるのではなく、互いに補完し合うことで、よりよい教育・保育が構成・実践されていくと考えられるからです。

資質能力の区分例

	教育的素養	教員として求められる高い使命感、倫理観、教育・保育に関わる仕事に対する誇りと情熱、乳幼児に対する教育的愛情等、教員として欠かせない資質能力。
	総合的人間力	教員として重要である常に学び続ける姿勢、変化に対応し続ける柔軟な姿勢、真摯な態度で目標を持ち達成を目指して行動する姿勢等、〇〇市の目指す「〇〇の子」の育成に向けて必要な資質能力。
教育・保育力	教育・保育を構成する力	乳幼児の自発的な活動としての遊びを生み出すための教育・保育を構成・実践し、生きる力の基礎を育むための資質能力。 ○ 乳幼児の実態把握に基づく教育・保育、評価・改善、個の特性を生かした集団作り等、教育・保育実践に係る資質能力。
	乳幼児を理解し個に対応する力	乳幼児に対する理解を深め、健やかな成長を支援する資質能力。 ○ 乳幼児の発達(個人差含む)に関する知識・理解、集団の中で個を生かす保育、特別支援教育の推進等に係る資質能力。
業務遂行力	教育・保育力以外の専門的な力	教育・保育力以外の教員としての専門的な資質能力。 ○ 安心安全な園作り、幼保こ小連携の推進、ICT活用、地域・外部機関との連携、子育て支援(保護者対応)等の推進に係る資質能力。
組織運営力	組織目標を達成するために必要な力	同僚との対話・協働、課題解決、コミュニケーション、人材育成等、組織の一員としての自覚を持ち、組織目標を達成するために必要な資質能力。 ○ 対話や協働、課題解決、人材育成等に係る資質能力。

3 園長モデル案について

園長モデル案については、「静岡県校長育成指標」に準じています。園長と校長との職務の共通性から、資質能力、項目、具体的行動例からなる内容に大きな変更は加えてありません。文言を幼稚園及び幼保連携型認定こども園に応じたものに整理しました。